

令和元年度第2回二宮町総合教育会議 会議要旨

開催日時	令和元年8月22日 木曜日 13時30分から15時24分まで
開催場所	二宮町役場 2階 第一会議室
出席者	村田邦子町長、森英夫教育長、岡野敏彦教育長職務代理者、原道子教育委員、山内みどり教育委員、渡辺優子教育委員
町部局	政策担当部長
教育委員会	教育部長、教育総務課長、教育総務班長
その他	傍聴 2人

※会議次第および資料は、別添ファイルのとおり

会議記録

(司会・教育部長)

開会にあたり、司会（教育部長）より会議の公開を諮る。

— 許可、傍聴者入室、着席 —

(町長)

皆さん、こんにちは。今年度第2回目の総合教育会議ということでよろしくお願ひします。第1回目の会議の後、教育委員会では、小中一貫教育校の意見交換会が行われたということで、本日はそのお話を出来ればと思います。また、町全体では、来年度の取組み、予算に向けた動きもありますので、併せて、意見交換をさせていただきたいとので、よろしくお願ひします。今日は、いくつかテーマを挙げさせていただきます。では、協議・調整事項の(1)小中一貫教育校の推進について、です。資料の説明を事務局からお願ひします。

— 事務局、資料説明 —

(町長)

意見交換会の様子については報告を受けておりますが、教育委員の皆さんも意見交換会に出席されたと伺っています。様々な意見が出たということですが、参加された感想も含めて、ご意見をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(山内委員)

全体として、小中一貫教育の説明については、参加者の多くの方が受け止めて頂けたように感じました。教育のあり方について。町民の皆さんが新しいものを柔軟に受け入れられているようでした。一方で、小中一貫教育の場所など、具体的な課題については、様々な意見をいただきました。教育委員会においては、まず、子ど

ものために、教育をどう考えていくか、ということに一定のご理解をいただきつつも、統廃合という言葉が非常に強く受け止められているようでした。改めて、教育に対する町民の意識の高さと、地域と学校との繋がりや思いを感じました。

(町長)

原委員から小中一貫教育の説明をいただき、具体的な計画を示していく中で、教育の総論部分では賛同していただけても、学校の位置など具体的な部分については、なかなか難しい部分もあったと思います。

(岡野委員)

地域の方から、地域の学校というものが、大切なものという意識を強く感じました。この集計結果にもありますが、自身に児童や生徒がいない世代も多く参加されていましたが、地域の皆さんの関心は、学校だけでなく、町全体、町づくりへの思いも非常に強いものがありました。

(渡辺委員)

これまでの研究、検討の成果や蓄積への理解とともに、将来に対する地域の方の思いを感じました。改めて、学校は教育の場というだけではなく、町の中、地域の中の大切なシンボル、拠点と捉えていました。この意見交換会を踏まえて、今後の方向性を考え、町民の皆さんに示していくにあたっては、やはり教育だけではなく、町全体の取組み、ビジョンとあわせて示していくことが必要と思います。

(町長)

50年先の町の未来について、しっかりとお伝えしていくことも必要ですね。

(渡辺委員)

計画については、もちろん現状を踏まえて、積み上げて考えていく一方で、教育の理想や理念を、一段とはっきりと示してとくと良いと思います。

(岡野委員)

教育の理想や理念、子ども達のこれからの思うと、取り組んでいくべき内容には、普遍的な部分と、時代に即した部分があると思います。人として大切な力を確保しつつ、これからの時代を生き抜くための力をつけて欲しいので、そうした事が出来るように、教育や学校のシステムについても考えていく必要があります。

(山内委員)

10年先までの当面のイメージが強く受け止められたと感じました。意見交換会でも出ましたが、さらに未来かもしれませんが、新設校の検討や、町全体のビジョンも示すことで、町民の皆さんにしっかりと伝わっていくと思います。

(原委員)

教育のあり方を中心にお話させていただきましたが、地域にある学校、という視点をお持ちの方が多く参加されたように感じました。次の説明会、意見交換会では、教育や学校だけではなく、地域づくり、町づくりの視点もお示していく必要があると思いました。住む地域から学校が無くなる、ともすれば、地域が置き去りにされるような印象を持たれた方がいるかもしれません。町として、子どもを育むということ、しっかりと示していく必要があると思います。

(町長)

今後、町全体のビジョンを示すことで、町づくり、地域づくりについて、理解を広めていきたいと思えます。

(教育長)

意見交換会では、学校を移転するイメージでお示ししたつもりだったが、意見交換をしていく中では、統合、移転ではなく、学区変更の意見も多くいただきました。改めてプランを練っていく際には、現在の案とともに、今回の意見交換会で挙げられた、学校の場所や校数、学校種のあり方の意見もふまえていきたいと思えます。教育委員会では、第一に子ども達について考えながら、一方で、その元となる、人づくり、地域づくりも必要だと考えています。そうした意味では、今回の意見交換会では、町民の皆さんの教育に対する思いの強さ、意識の現われを感じる事が出来たのは、非常に良かったと思えます。

(原委員)

今後、町民の皆さんにお示しし説明していくには、教育委員会のみでの対応では困難だと思えました。町民の方が考えていられるのは、教育面だけでなく、町づくりすべての面ですので、町全体として示していく必要があると強く感じました。

(町長)

たしかに、学校、教育面だけでなく、地域づくり、町づくりを、町としてしっかりと示していけないといけませんね。皆さんとお話をしし、改めて、必要性を感じました。

(山内委員)

町長ご自身の言葉で、その思いをしっかりとお示しいただければ、そこからイメージが広がり、理解が深まると思えます。

(町長)

ありがとうございました。では、続いて、(2) コミュニティ・スクールの運営状況についてです。資料の説明を事務局からお願いします。

— 事務局説明 —

(町長)

事務局から説明がありました。一色小学校が1年早く始まったこともあり、具体的な取組みを始められているようですね。先ほどの意見交換会もありましたが、この夏、町内の夏祭りなどで地域の皆さんとお話すると、地域の方から、学校と連携した様々な取組みのお話をいただきました。コミュニティ・スクールの考え方、イメージが地域に浸透し始めたのかな、とも感じました。

(教育長)

学校側でも地域へしっかりと情報発信していこうとしています。学校、地域双方から取組みが進めばと感じています。

(原委員)

各学校の取組みについて、例えば、地区長会の場合などでも紹介することで、学校

だけではない様々な相乗効果が出ればと思います。

(山内委員)

コミュニティ・スクールの取組みにより、改めて、学校と地域の方が顔を見て話す場、情報交換が出来る場が出来たことが大きいと思います。

(町長)

広報や回覧板だけではできなかったコミュニケーションが広がっているのは良いことだと思います。すぐに直接的な成果が見えるものではないと思いますが、徐々に浸透し広まり、効果が出てくると良いと思います。

(岡野委員)

コミュニティ・スクールについても、横の連携、他の学校の取組みを知ることで、さらに良い取組みに繋がると思います。地域人材の活躍が進むことで、教育の中に、教科書、学校教育だけではない、学びに繋がればと良いと思います。

(町長)

ありがとうございました。取組みがさらに深まることを期待しています。また、今後情報交換したいと思います。では、次に、(3)「ガラスのうさぎ像平和と友情のつどい」と二宮町の平和教育についてです。資料の説明をお願いします。

－ 事務局説明 －

(町長)

事務局から説明がありました。平和と友情のつどいへの、児童生徒の参加は、少し前まで合唱のみでしたが、ここ数年は式典も含めて全体的に参加していただいています。

(山内委員)

現在は、小学校6年生で1校、中学校で1校と輪番で参加されているようですが、参加できない学年もあるようです。町内の6年生全員が参加できるような形が出来ると良いと思います。

(教育長)

来年は30回の節目を迎える所でありますので、教育委員会としても取組みが出来ればと考えています。校長会でも検討していきたいと思います。

(原委員)

今年は、高木氏の出席もあり、改めて平和について考える良いきっかけになりました。つどいの取組みは、戦争を経験した世代が減る中で、平和について考える機会として大切にしていきたいと思います。

(町長)

町としても、平和事業としてつどいに取り組んでいて、これからも継続していきたいと考えています。学校での平和教育と連携した取組みをしていきたいと思えます。それでは、続いて、(4)新学習指導要領をふまえた教育環境整備についてです。資料の説明を事務局からお願いします。

(町長)

ありがとうございました。小学校では、春から新しい教科書になりますね。まずは教育委員会で、必要な内容を検討いただき、それを受けて、町としてしっかりと対応していきたいと考えています。この資料にあるようにこれまでの内容に、新たな内容も加わります。学校現場の教育を、町として支えていきたいと思っています。

(原委員)

採択で、各社の教科書を見ましたが、改めて、ICT環境があることが前提となった教育内容になっていると強く感じました。ぜひ、環境整備に取り組んでいただければと思います。

(岡野委員)

紙媒体の教科書だけでは出来ない内容が掲載されていました。ハードウェア整備も必要ですが、それらを用いて、どのように授業のクオリティを高めていくかも考えていく必要があります。

(教育長)

現在ある機器の活用を進めながら、必要な整備を検討していきたいと思っています。

(渡辺委員)

環境整備も必要ですが、この学習指導要領の改訂を受けて、改めて、授業のあり方や教育のあり方から考えていく必要を感じました。

(教育長)

言語能力、読む、聞く、考える力をしっかり育てていく必要があります。また、創造力、表現力、調整力、周囲と対話ができる子ども達を育てていく必要を感じています。

(原委員)

今の子ども達には、様々な人、相手とのコミュニケーションの経験が必要だと思います。経験できる場、環境をあえて作り、学校の授業だけでは培うことの出来ない力を身につけて欲しいと願っています。先ほどまでお話していた小中一貫教育や、コミュニティ・スクールの仕組みとも繋がりますし、幅広い取組みになると思います。

(町長)

学校教育の環境整備とともに、学校を離れた部分での環境整備も必要ですね。町としてのビジョンも、皆さんとしっかり共有していきたいと思っています。では、本日予定していた協議・調整事項はすべて終了いたしました。次回は、説明のありましたとおり、令和2年1月23日(木)13時30分からとなります。次回もよろしくお願いたします。それでは、これもちまして第2回二宮町総合教育会議を閉会いたします。ありがとうございました。

15：24 閉会